

# 動物検疫所の概要



動植物検疫探知犬  
イメージキャラクター  
「クンくん」

令和8年  
農林水産省動物検疫所



# 動物検疫所の役割・配置

海外からの伝染性疾病の侵入を防止し、畜産業の振興と公衆衛生の向上を図っています

## 農林水産省設置法第11条

- 1 家畜伝染病予防法に基づく輸出入動物、その他の物の検査、その他の措置
- 2 輸出入動物に対する狂犬病予防法に基づく検査
- 3 「感染症法」の規定による輸入動物の検査、これに基づく措置
- 4 輸出入動物の健康検査
- 5 動物用生物学的製剤及び予防器具の保管、配付、譲与及び貸付け
- 6 「委託」を受けて動物その他の物に対する検査又は消毒を行うこと



動物検疫所は全国の国際空港・港などに配置されており、家畜防疫官（動物検疫業務を担う農林水産省の技術系職員）が動物・畜産物の輸出入検査を実施しています。



# 動物検疫所の主な業務

## 1 旅客の携帯品畜産物・犬猫の検査（国際空港ターミナルなど）



## 2 貨物畜産物の検査（海港など）



## 3 家畜の係留検査（係留施設）



## 4 その他（郵便物検査、サルの輸入検査、水産動物の輸入許可業務、調査研究、国内防疫支援など）

# 1. 国際空港ターミナルでの仕事 (旅客の携帯品畜産物・犬猫検査等)



# 国際空海港における旅客に対する水際対策

出発国

機内アナウンス



## 事前対応型広報

現地空港カウンターでポスター掲示、注意喚起



空港/港

## 出国前の情報提供



## <海外向け情報配信>

- ・現地SNS
- ・多言語動画

日本

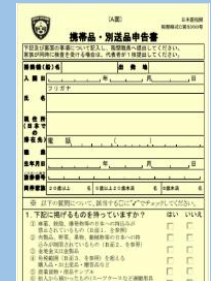
## 現場対応検査



靴底消毒



多言語ポスター・リーフレット



税関との連携



口頭質問・通訳



動植物検疫探知犬



自主廃棄用BOX



動植物検疫カウンター

出入国在留管理庁との連携（慎重審査）

空港/港



- ・広報キャンペーン
- ・入国者への情報提供



入国

# 動植物検疫探知犬の活動

## 動植物検疫探知犬とは…

- ・手荷物の中から動物検疫の検査を必要とする肉製品や農産物を嗅ぎ分け座って知らせる訓練を受けた犬
- ・日本では平成17年12月に成田空港に初めて導入
- その後、順次活動頭数を増加
- ・令和2年度末に**140頭体制を構築**

参考：年度毎の動植物検疫探知犬活動総数

| 年度   | H17 | H27 | H30 | R1 | R2  |
|------|-----|-----|-----|----|-----|
| 配置総数 | 2   | 18  | 33  | 53 | 140 |

**探知対象物** (例) 肉類、ハム、ソーセージ類、餃子等の肉製品、果物



## 探知活動



対象物を発見すると、座ってハンドラーに知らせる。



ハンドラーからの知らせを受けた家畜防疫官（動物検疫所職員）が手荷物検査を実施。



必要に応じてセキュリティタグ※と動植物検疫カウンターへの案内紙を装着  
→旅客のカウンターへの案内の効率化

※無理に外したり、セキュリティアンテナの側を通ると鳴動するタグ

## ◆所内育成の取組

動物検疫所において、一部動植物検疫探知犬及びハンドラーを育成している。



# 犬猫の輸入検査（狂犬病予防法）

検疫対象疾病：狂犬病（犬、猫、きつね、あらいぐま、スカンク）

狂犬病発生地域からの輸入の場合、マイクロチップによる個体識別、ワクチンの2回接種、抗体検査、180日の待機期間が必要。条件を満たしていない場合は、最長180日の係留検査

※犬については家畜伝染病予防法に基づく輸入検査の対象にもなります



到着時検査  
（個体確認、臨床症状の確認）



羽田空港支所検疫場

係留検査 ※係留施設で実施  
（臨床症状の確認）




# 家畜防疫官の勤務イメージ（国際空港ターミナル）


**勤務パターン例** ※28日の間に8日間の週休。5日サイクルで勤務。空港により異なる。

|        | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13                                      | 14 | 15                            | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|----|-------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 日勤     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    | ・携帯品畜産物検査／探知犬業務<br>・犬猫輸出入検査<br>・家畜の臨機検査 | 休憩 | ・犬猫等の問合せ対応<br>・携帯品畜産物検査／探知犬業務 |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 遅番     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    | ・犬猫等の問合せ対応<br>・携帯品畜産物検査／探知犬業務           | 休憩 | ・携帯品畜産物検査／探知犬業務<br>・犬猫輸出入検査   |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 夜勤（入り） |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 夜勤（明け） |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |
| 週休     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |    |   |    |                               |    |    |    |    |    |    |    |    |

**仮眠室**



**休憩室**



携帯品畜産物検査



動植物検疫探知犬業務



犬猫の輸出入検査



家畜の臨機検査



## 2. 海港での仕事 (船舶貨物畜産物の検査等)



# 畜産物の輸入検査（家畜伝染病予防法）



1. 輸入港への到着



2. 指定検査場所



3. 書類検査



4. 現物検査



5. 精密検査



6. 消毒

合格

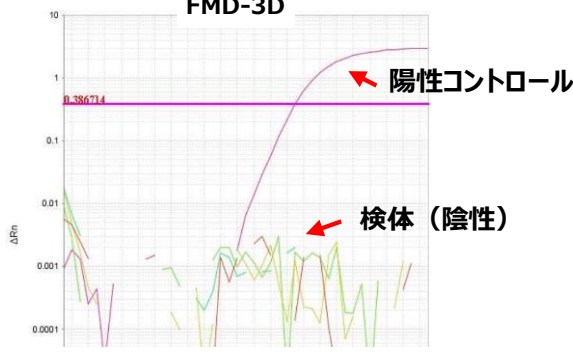
7. 輸入検疫証明書の交付

不合格

8. 焼却、埋却処分

## 遺伝子検査

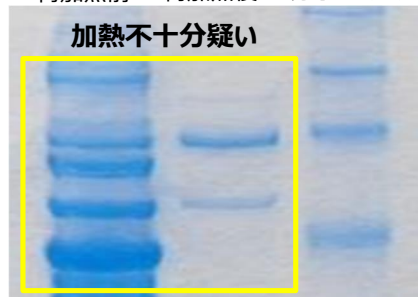
FMD-3D



## 加熱状況確認検査

再加熱前 再加熱後 分子量マーカー

加熱不十分疑い



## 指定検疫物に該当する畜産物等

- (1) 卵
- (2) 骨、肉、脂肪、血液、皮、毛、羽、角、蹄、腱、臓器
- (3) 骨粉、肉粉、血粉、皮粉、羽粉、蹄角粉、臓器粉
- (4) 生乳、乳製品、精液、未受精卵、受精卵、糞、尿
- (5) ハム、ソーセージ、ベーコン
- (6) 穀物のわら及び乾草



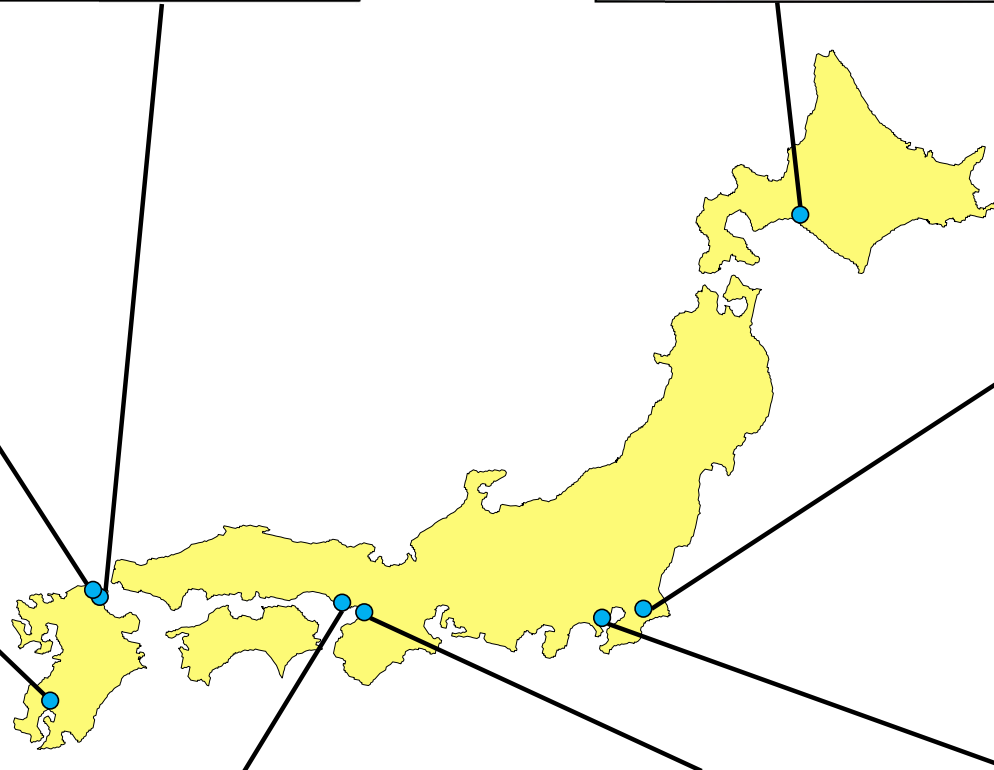
# 3. 係留施設での仕事 (家畜の係留検査等)



# 動物検疫所の家畜の係留施設



| 係留施設                      | 主な係留動物 |
|---------------------------|--------|
| 胆振                        | 軽種馬    |
| 天浪、横浜                     | 軽種馬、豚  |
| 苅藻、一突、<br>新門司、太刀浦、<br>鹿児島 | 肥育用馬   |



# 家畜の輸入検査（家畜伝染病予防法）



1. 臨船・臨機検査



2. 係留施設への輸送及び搬入



3. 書類検査



4. 臨床検査



5. 採血・採材



6. 精密検査

信頼性の確保

合格

不合格

7. 輸入検疫証明書の交付（解放）



8. 返送又は殺処分

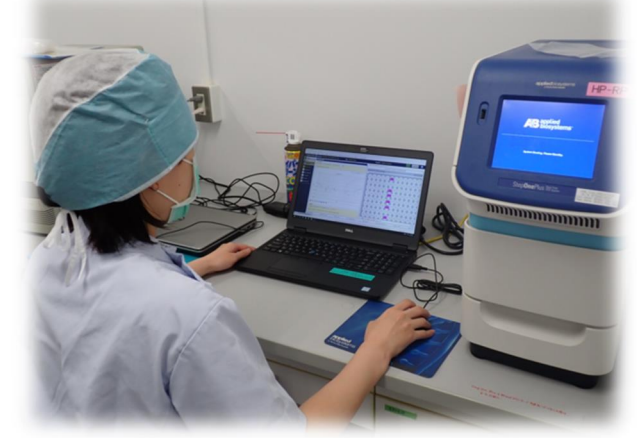
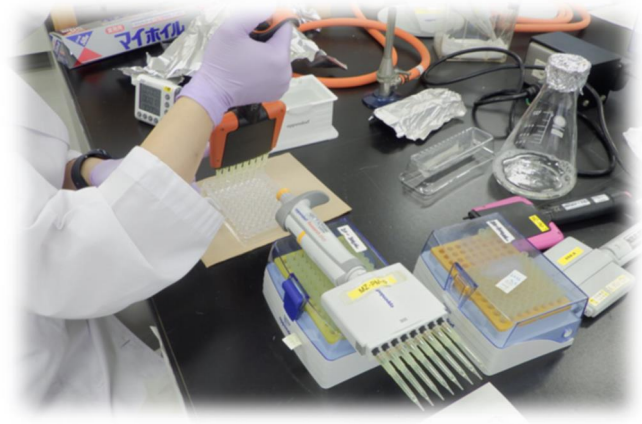
# 家畜防疫官の勤務イメージ（係留施設）

|    |  | 勤務パターン例 ※原則 日勤（月～金） |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
|----|--|---------------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|-------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--|
|    |  | 0                   | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12                | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |  |
| 日勤 |  |                     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
|    |  |                     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    | ・臨床検査(朝)<br>・精密検査 | 休憩 |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |
|    |  |                     |   |   |   |   |   |   |   |   |   |    |    |                   |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |  |

係留検査中の家畜



検査室での精密検査



# 4. その他の仕事

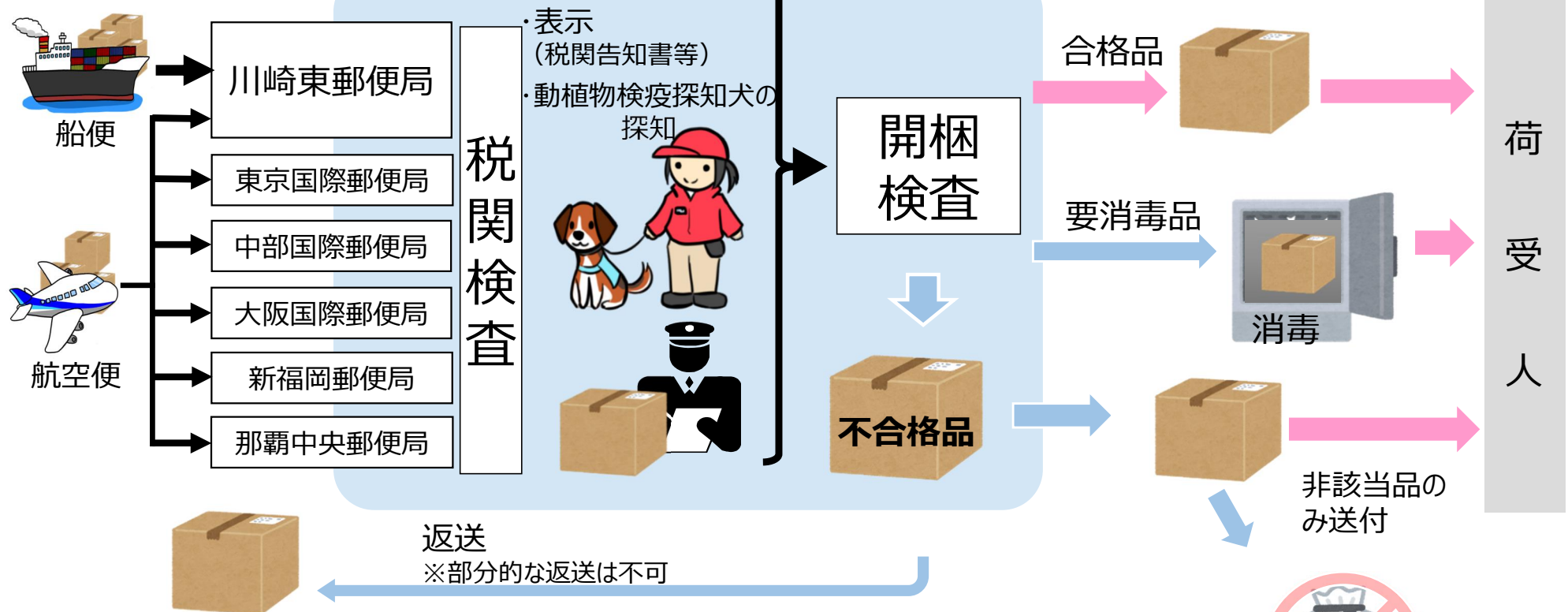
(郵便物検査、サルの輸入検査、  
水産動物の輸入許可業務、調査研究、  
国内防疫支援)



# 国際郵便物の輸入検査

- 全国の国際郵便局（6か所）において、日本郵便及び税関と協力して検査を実施

## 国際郵便物



国際郵便物の違反畜産物摘発件数及び重量

| 年度           | 2021年                  | 2022年                  | 2023年                | 2024年                | 2025年<br>(速報値)                     |
|--------------|------------------------|------------------------|----------------------|----------------------|------------------------------------|
| 摘発件数<br>(重量) | 50,898件<br>(85,703 kg) | 53,116件<br>(86,589 kg) | 47,650<br>(73,092kg) | 46,201<br>(61,682kg) | <b>40,834</b><br><b>(59,280kg)</b> |



**不合格品  
焼却**

# サルの輸入検査、水産動物の輸入許可業務

## サルの輸入検査

(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)



検疫対象疾病：エボラ出血熱・マールブルグ病（霊長類）

- 係留施設での30日間の臨床検査

## 水産動物の輸入許可業務

(水産資源保護法)



検疫対象疾病：コイヘルペスウイルス病、急性肝臓壊死症 等24疾病

対象動物：こい、きんぎょその他のふな属魚類、まだい、

くるまえば科のえび、まがき、まぼや 等

# 動物検疫業務に関する調査研究

## 新しい検査技術の導入・見直し

国際獣疫事務局(WOAH)の診断マニュアルや国内研究機関からの協力に基づき、国内に検査機関がない疾病や、海外で新たに確認された疾病を中心に、検査法・診断体制を計画的に導入・見直し



リアルタイムPCR装置 次世代シーケンサー ポータブル遺伝子検査装置

## 検疫業務の効率化に向けた検証

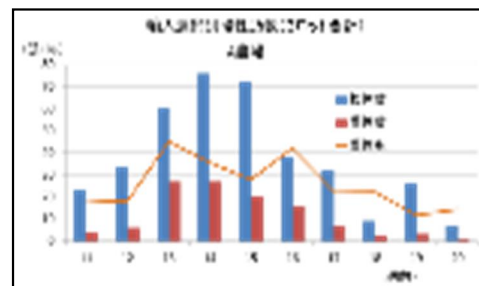
- 輸入禁止品のモニタリング (畜産物のASF、FMD、AIウイルス汚染状況調査)
- 迅速遺伝子検出による畜種鑑別法の検討
- 検疫探知犬の探知実績分析
- 指定検疫物保有者のプロファイリング 等



## 輸出国の疾病発生・管理体制等の情報収集

- 海外の疾病発生状況
- 輸出国の疾病管理体制情報
- 輸入動物の監視伝染病以外の疾病サーベイランス

(例)「豚サ－コウイルス2型の浸潤状況調査」



「輸入カニクイザルにおける結核症の集団発生事例」獣医学術奨励賞受賞



## 輸出入動畜産物のリスク評価

動物、畜産物の輸出入に伴う疾病の国内外への伝播の危険性の評価



リスク評価書

# 国内防疫支援の取組

口蹄疫、豚熱、高病原性鳥インフルエンザ  
などの国内発生に備えた  
緊急支援体制の整備

## ● ワクチン、防疫資材の備蓄、管理

- ・防疫資材の確保、管理
- ・大型防疫資材の利用 等

## ● 緊急支援チームの人材確保

- ・都道府県が行う防疫措置を支援  
するために必要な人材

## ● 関係者との連携強化

- ・都道府県等地方自治体との連携

## 防疫資材の保管・管理・搬出入



## 大型防疫資材の搬出入



## 都道府県との情報共有



# キャリアパスなど



# キャリアパスなど

おおむね2～3年程度のサイクルで異動します。動物検疫所内で全国各地の空海港、係留施設、精密検査部門などを巡るケースもあれば、農林水産本省、他省庁、都道府県、独立行政法人、在外公館や国際機関といった様々な部署で働く機会もあります。

動物検疫所Webサイト（採用情報）に掲載している「動物検疫所入省案内パンフレット」に職員のキャリアパス紹介を載せていますので、そちらもご参照ください。

## 若手職員からのコメント



### 入省の動機、きっかけ

- 大学で学んだ専門知識を活かして様々な立場の人の役に立ちたいと考えて。
- 水際検疫に広く携わることで食の安定供給を目指したいと考えたため。
- 職場見学会等で検疫探知犬業務や犬猫の検疫業務に魅力を感じたから。



### 仕事のやりがい、魅力①

- **海外悪性伝染病の侵入を水際で防ぐ！**というやりがいを感じる。
- 動物検疫所以外にも、本省勤務や他機関への出向など様々な経験ができる。
- 全国異動に伴って各地に行くことができる。



### 入省後の印象、職場の雰囲気

- 研修制度が非常に充実している。
- 仕事の内容が幅広いため、より柔軟な対応が求められる。
- 体力を使う仕事も多い！
- ちょっとしたことでも、先輩や上司に**相談しやすい**。



### 仕事のやりがい、魅力②

- 畜産業やペットの命などに関わってくるので**責任もあるが、その分やりがいもある**。
- 幅広い専門知識を身につけることができ、様々な仕事や現場を体験できること。
- 業務を通じ、色々な国の文化や習慣を学ぶこと。